

## U17a            Test Analysis of Narrowband Imaging Survey at the Subaru Prime Focus

林野友紀、谷口義明、吉田俊光、松田有一、田村一 (東北大理)、Suprime-Cam group

狭帯域 (NB) フィルターを用いた high redshift サーベイは、Cowie, Steidel 等による Ly $\alpha$  輝線銀河検出に代表されるように宇宙論観測研究の一つのスタンダードになりつつある。特に QSO clustering 領域や、LBG サーベイで見つけられた high  $z$  銀河 cluster など、物質密度・中性水素密度が高いと考えられる領域に対する Narrowband Imaging Survey では大量の Ly $\alpha$  emitter や、Ly $\alpha$  blob なる新天体の発見があり、魅力的なサーベイとして意義が認められつつある。すばる主焦点でも今後このタイプのサーベイは一つの独自の流れを形成していくものと思われる。特に、主焦点 34'  $\times$  27' 面積は、近傍宇宙の泡構造スケールを high  $z$  でほぼ 1 視野に収めることができ、深宇宙大規模構造の発見などに大きな期待がかかる。

本講演では、すばる主焦点でのそのようなサーベイの試行として Suprime-Cam group が GTO において取得した Intermediate-band/Narrowband filter 観測データの初期的解析結果を報告する。この内、Intermediate-band 輝線解析は、CW5736/BW280Å filter と、B, V, R, i' filter を組合せて行なったもので、静止系等価幅 50Å 以上の  $z=3.7$  Ly $\alpha$  emitter 候補を十数個検出した。